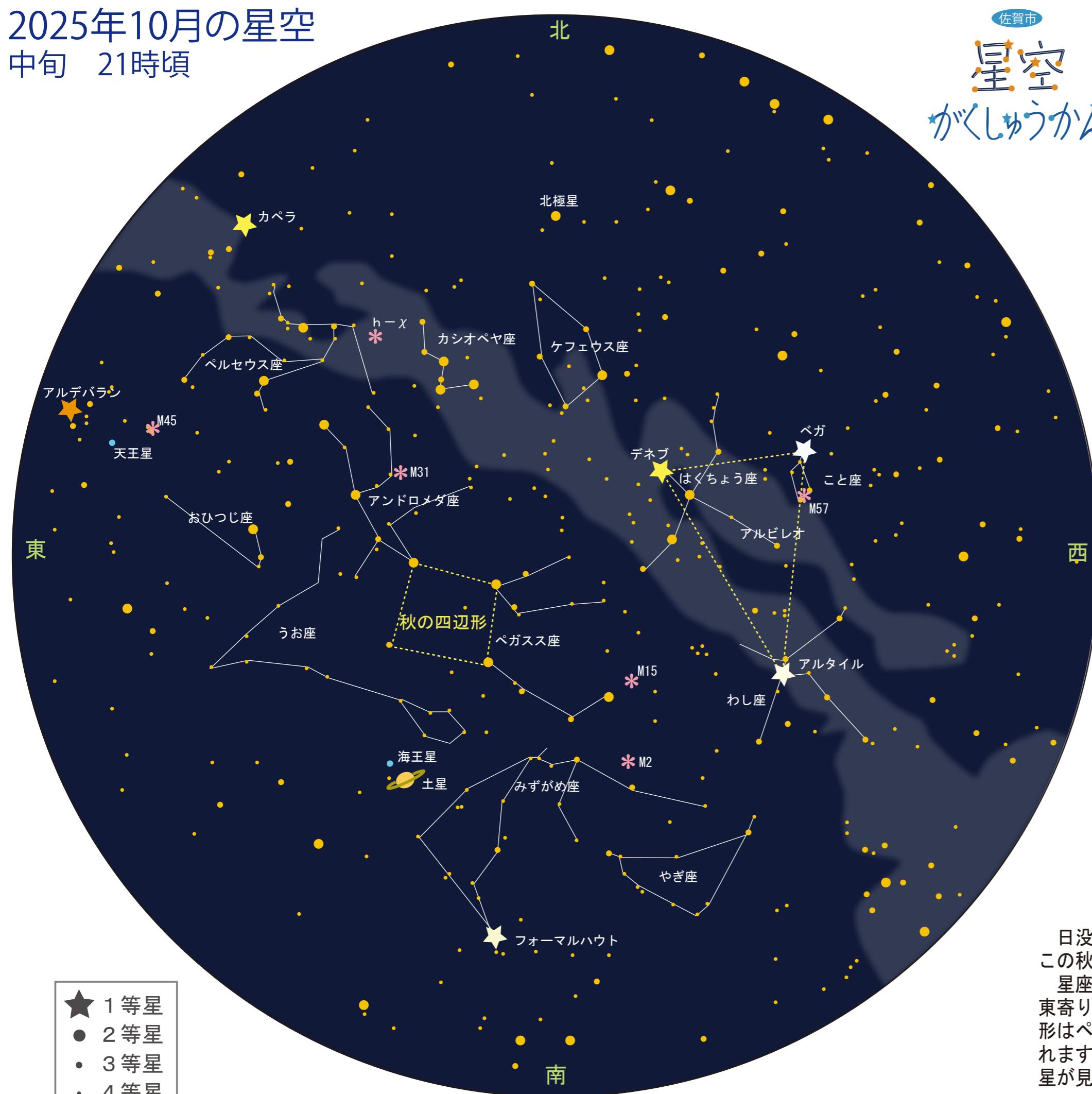


2025年10月の星空

中旬 21時頃



★ 今月の天文現象とこよみ

- 2日 準惑星ケレスが衝（最接近の頃）
- 6日 中秋の名月
- 7日 満月
- 8日 寒露（かんろ）
- 13日 スポーツの日
- 14日 下弦の月
- 20日 土用
- 21日 新月
- 22日 オリオン座流星群がピークの頃
- 23日 霜降（そうこう）
- 30日 上弦の月
- 30日 水星が東方最大離角

中秋の名月

旧暦8月15日の月をさします。旧暦では7月、8月、9月を秋として、その中央となるので「中秋」と読んでいます。

土星

環のある姿が人気の惑星です。みずがめ座とうお座の境界にあって、南の空で明るく輝きます。今年の環はほぼ真横になり細く見えます

秋の四辺形

2~3等星4つでできる四角形で、夏の大三角ほどは明るくありませんが、まわりに明るい星が少ないので、意外と目立ちます。秋の星座を見つける目印になります。

アンドロメダ座大銀河（M31）

天の川銀河の外側、230万光年彼方にある大銀河です。望遠鏡を使っても、ぼんやりと雲のようにしか見えませんが、実際には数千億個の星の大集団です。

日没の時刻がだんだん早くなり、星空を見やすい季節となりました。この秋は、明るい土星に注目しましょう。

星座では秋の四辺形を探してみましょう。南の空を見上げて、少し東寄りのところに、4つの星が長方形に並んでいます。この秋の四辺形はペガスス座の胴体部分にあたるため、ペガススの四辺形ともいわれます。秋の四辺形の西側の辺を南へのはした先、ポツンと輝く一等星が見つかります。これは、みなみのうお座のフォーマルハウトです。